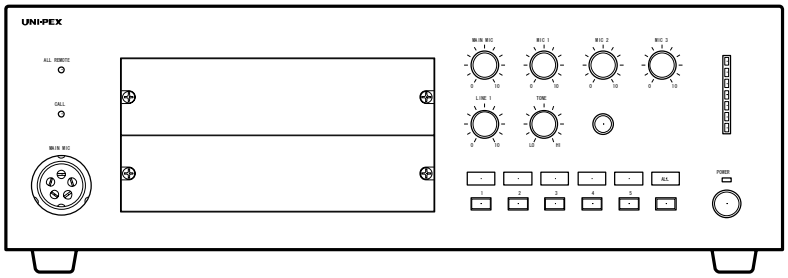
UNI-PEX

船内指令装置

取扱説明書

定格出力 60W　TT-60　　定格出力 30W　TT-30



このたびは、船内指令装置をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、必ずこの取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。この取扱説明書はお読みになりましたら大切に保管し、後日わからないことがあれば再びご覧ください。

目次

安全に正しくお使いいただくために……1
安全上のご注意……2〜3
各部の名称と説明(前面)……4
トークバックマイクの接続……4
各部の名称と説明(後面)……5
端子カバーのはずしかた……5
プラグの接続……5
端子の接続について……6
操作及び動作方法……7
定格……8
外観寸法図……8

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

安全上のご注意〈必ずお守りください〉

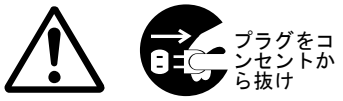
●ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。

●お読みになったあとは、必ず保存してください。

⚠ 警告

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐ、ものをのせたり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）販売店などに交換をご依頼ください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、スピーカー線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

壁から5cm以上の間隔をおいて設置する

内部に熱がこもり火災の原因となります。また、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。

⚠ 注意

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災･感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災･感電の原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。

工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災･感電、けが、器物損壊の原因となります。
工事店にご相談ください。

濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

電源プラグを抜くときは､電源コードを引っ張らない

コードが傷つき､火災､感電の原因となります｡必ずプラグを持って抜いてください。

移動するときは､コード類を傷つけない

火災､感電の原因となることがあります｡移動させる場合は､電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き､外部の接続コードをはずしてからおこなってください。

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特にお子様にはご注意ください｡倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

テレビ､オーディオ機器､ビデオ機器､スピーカーなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み､電源を切り､説明に従って接続してください｡又接続が終わりましたら､必ず端子カバーを取り付けてください｡感電の原因となることがあります。

１年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください｡内部にほこりのたまったまま､長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に､湿気の多くなる梅雨時の前に行うと､より効果的です｡なお､掃除費用については工事店などにご相談ください。

各部の名称と説明（前面）

メインマイク音量調節つまみ

ライン1(ページング)音量調節つまみ

オプションユニット組込部
ラジオチューナーユニットを上段に、カセットユニットを下段に組み込むことができます。

一斉リモート表示灯
ページングなど、一斉起動時に点灯します。

コール表示灯
マイク1～3のスイッチを入れると点灯します。

放送先表示
付属の放送先表示ネームを貼ってください。

マイク1音量調節つまみ

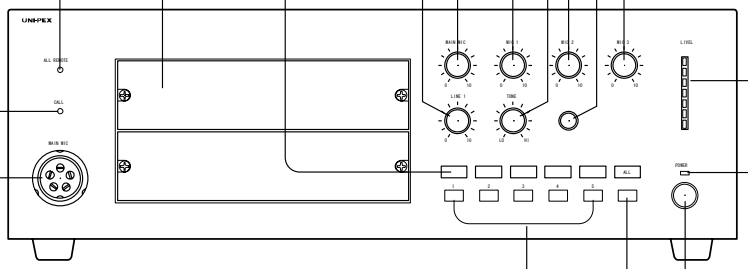
音質調節つまみ
左にまわすと高音が減衰されます。

マイク2音量調節つまみ

チャイム用押しボタン
オプションのチャイムユニットを組み込んだときに使用します。

マイク3音量調節つまみ

出力レベルメーター
出力レベルを表示します。出力レベルの表示は5個の緑色表示内が適正範囲です。連続して赤色が点灯しないように各音量を調節してください。



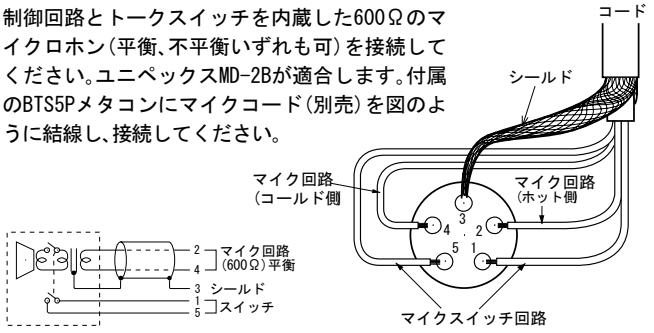
電源表示灯
電源が入ると赤に点灯します。

電源スイッチ
AC電源とDC24Vの電源を入り切りします。押すと電源が入り、再度押すと切れます。

スピーカー一斉スイッチ
押すとスピーカー回線選択スイッチを切った状態でも、全スピーカーが動作します。

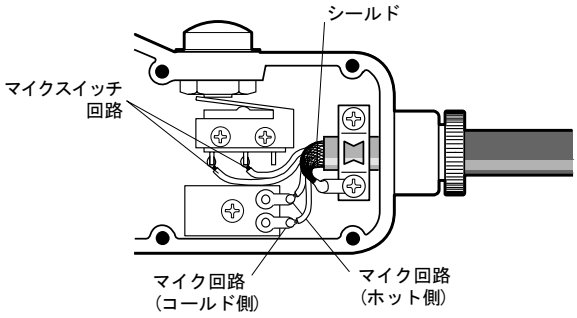
スピーカー回線選択スイッチ
各スイッチを押すと対応する回線のスピーカーが動作します。

メインマイク接続コンセント
制御回路とトークスイッチを内蔵した600Ωのマイクロホン(平衡、不平衡いずれも可)を接続してください。ユニペックスMD-2Bが適合します。付属のBTS5Pメタコンにマイクコード(別売)を図のように結線し、接続してください。



トークバックマイクの接続

- トークバックマイクMD-2Bにはコードが接続していません。別売の専用コードLM-405(5m)/LM-410(10m)のいずれかを図の要領で接続してください。
- トークバックマイクMD-2Bの取扱説明書もよくお読みください。



各部の名称と説明(後面)

サービスコンセント(非連動)
音響製品以外は接続しないでください。

⚠警告 接続する機器の消費電力の合計が100Wを超えないようにしてください。火災の原因になります。

ラジオアンテナ端子
アンテナ端子は75Ωです。アンテナ引込線は雑音障害を防ぐために75Ω同軸ケーブルで接続してください。左側　ANT　端子がホットで、右側のGND端子に同軸ケーブルのシールドを接続してください。(ラジオユニットに付属されているループアンテナは使用できません。)

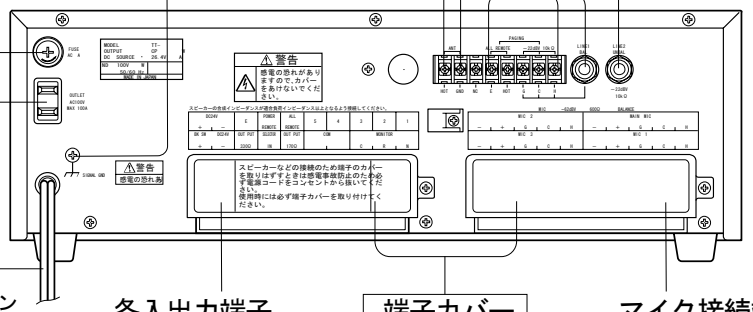
ACヒューズホルダー
取り換えの場合は必ず表示定格のヒューズをご使用ください。

アース端子(雑音低減用)
この端子は他の音響機器を接続した場合などの雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

ライン1入力ジャック (-22dBV 10kΩ 平衡)
ページング入力端子
電話ページングなどで、一斉放送する場合に使用します。ライン1入力ジャックにプラグを接続しているときには、ページング入力端子を使用することができません。マイク放送時は中断しません。また、一斉起動をかけた場合、ライン2及びオプションユニットは中断されます。

ライン2入力ジャック(-22dBV 10kΩ 不平衡)
マイク放送時は中断します。カバーを開けると内部に半固定音量調節器があります。

⚠警告 本機のカバーは絶対に開けないでください。感電の恐れがあります。ライン2の半固定音量調節器の調整は、必ず販売店などにご依頼ください。



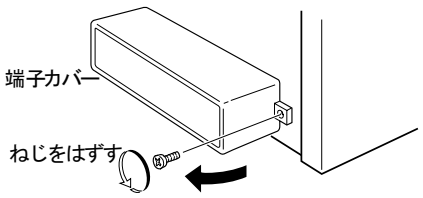
電源コード
電源プラグをAC100Vコンセントに接続してください。

各入出力端子　端子カバー　マイク接続端子

端子カバーのはずし方
●本機にスピーカーやDC電源、マイクなどを接続されるときは、後面の端子カバーをはずしてください。
●端子カバーのねじをはずし、カバーを図2の矢印の方向にはずしてください。各端子の接続後には必ずカバーを元どおり取付けてください。(図2参照)

⚠警告 ご使用中は、感電の恐れがありますので、端子カバーをはずさないでください。接続などで端子カバーをはずすときは、必ず電源の接続をはずしてください。

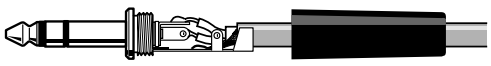
図2



プラグの接続

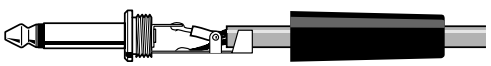
●ライン1の入力プラグ接続方法

2芯シールド線

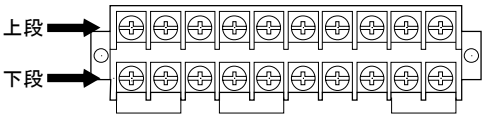


●ライン2の入力プラグ接続方法

1芯シールド線



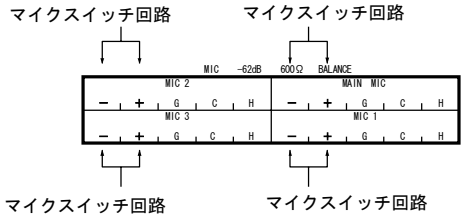
端子の接続について



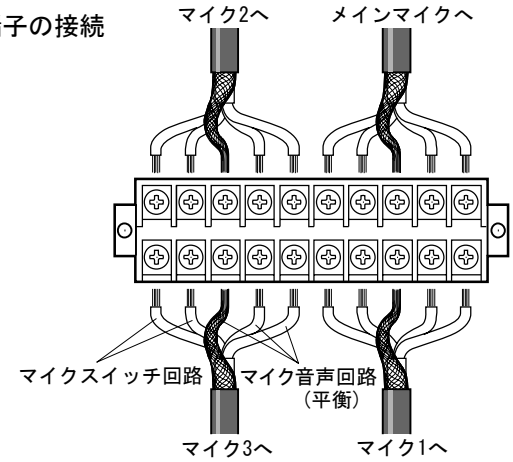
各端子は上下２段になっていますが 、この端子の表示は端子のすぐ上のパネル面に下記のように表示してあります 。この表示は端子に対応して 、上側が端子の上段の説明 、下側が端子の下段の説明となっています 。

マイク端子

●マイク端子の表示



●マイク端子の接続



入出力端子

●入出力端子の表示

TT-30の端子表示

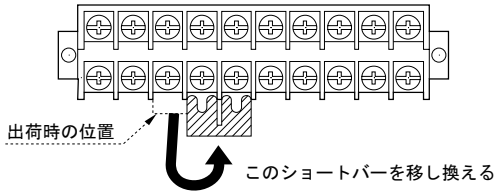
DC24V		E	POWER	ALL	5	4	3	2	1
			REMOTE	REMOTE					
BK SW	DC24V	OUT PUT	SELECTOR	OUT PUT	COM		MONITOR		
		330Ω	IN	170Ω			C	R	N

TT-60の端子表示

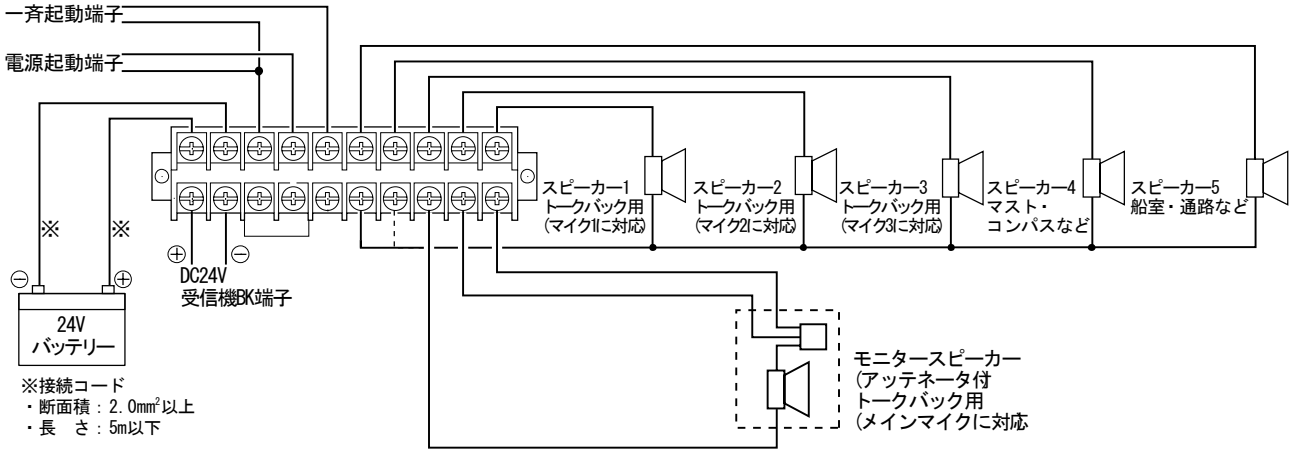
DC24V		E	POWER	ALL	5	4	3	2	1
			REMOTE	REMOTE					
BK SW	DC24V	OUT PUT	SELECTOR	OUT PUT	COM		MONITOR		
		170Ω	IN	83Ω			C	R	N

●出力負荷変更

出荷時はショートバーによる設定でTT-30の場合330Ωに、TT-60の場合170Ωに設定してあります。ショートバーを右図のように設定を換えることによりTT-30の場合170Ωに、TT-60の場合83Ωに出力負荷インピーダンスを変更する事ができます。



●入出力端子の接続例



※接続コード
・断面積：2.0mm²以上
・長　さ：5m以下

特にご注意を. .●スピーカーの合成インピーダンスが､アンプの適合インピーダンスより小さくならないようにしてください。
●スピーカーの合計W数はアンプの定格出力以下にしてください。
●感電に注意！出力端子には､定格出力時に次に示す電圧がかかります。
TT-60 :約100V(出力170Ω)/約70V(出力83Ω)､TT-30 :約100V(出力330Ω)/約70V(出力170Ω)

操作及び動作図

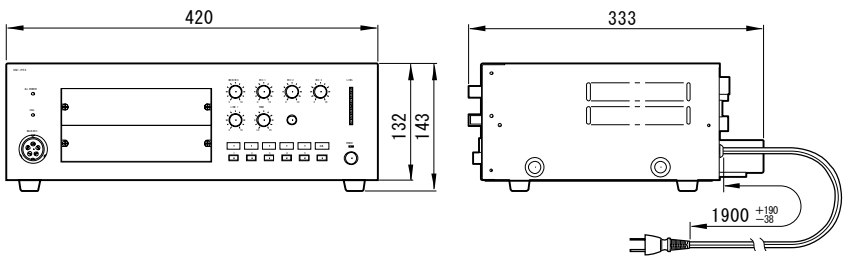
	スピーカー回線選択スイッチ		メインマイク	マイク 1	マイク2	マイク3	マイク全て
			ON	ON	ON	ON	OFF
スピーカー一斉スイッチ OFF	1	ON	メインマイク ライン 1		マイク 2 ライン 1	マイク 3 ライン 1	ミュージック ライン 1・2
		OFF					
	2	ON	メインマイク ライン 1	マイク 1 ライン 1		マイク 3 ライン 1	ミュージック ライン 1・2
		OFF					
	3	ON	メインマイク ライン 1	マイク 1 ライン 1	マイク 2 ライン 1		ミュージック ライン 1・2
		OFF					
	4	ON	メインマイク ライン 1	マイク 1 ライン 1	マイク 2 ライン 1	マイク 3 ライン 1	ミュージック ライン 1・2
		OFF					
	5	ON	メインマイク ライン 1	マイク 1 ライン 1	マイク 2 ライン 1	マイク 3 ライン 1	ミュージック ライン 1・2
		OFF					
	モニター	ATT 1～3		マイク 1 ライン 1	マイク 2 ライン 1	マイク 3 ライン 1	ミュージック ライン 1・2
		ATT 0		マイク 1 ライン 1	マイク 2 ライン 1	マイク 3 ライン 1	
スピーカー一斉スイッチ ON	1	ON	メインマイク ライン 1		マイク 2 ライン 1	マイク 3 ライン 1	ミュージック ライン 1・2
		OFF	メインマイク ライン 1		マイク 2 ライン 1	マイク 3 ライン 1	ミュージック ライン 1・2
	2	ON	メインマイク ライン 1	マイク 1 ライン 1		マイク 3 ライン 1	ミュージック ライン 1・2
		OFF	メインマイク ライン 1	マイク 1 ライン 1		マイク 3 ライン 1	ミュージック ライン 1・2
	3	ON	メインマイク ライン 1	マイク 1 ライン 1	マイク 2 ライン 1		ミュージック ライン 1・2
		OFF	メインマイク ライン 1	マイク 1 ライン 1	マイク 2 ライン 1		ミュージック ライン 1・2
	4	ON	メインマイク ライン 1	マイク 1 ライン 1	マイク 2 ライン 1	マイク 3 ライン 1	ミュージック ライン 1・2
		OFF	メインマイク ライン 1	マイク 1 ライン 1	マイク 2 ライン 1	マイク 3 ライン 1	ミュージック ライン 1・2
	5	ON	メインマイク ライン 1	マイク 1 ライン 1	マイク 2 ライン 1	マイク 3 ライン 1	ミュージック ライン 1・2
		OFF	メインマイク ライン 1	マイク 1 ライン 1	マイク 2 ライン 1	マイク 3 ライン 1	ミュージック ライン 1・2
	モニター	ATT 1～3		マイク 1 ライン 1	マイク 2 ライン 1	マイク 3 ライン 1	ミュージック ライン 1・2
		ATT 0		マイク 1 ライン 1	マイク 2 ライン 1	マイク 3 ライン 1	ミュージック ライン 1・2

●空白の箇所は停止状態を示します。

●オプションユニット部はミュージックとして記入。

外観寸法図

(単位mm)



定格

品番	TT-60	TT-30
使用電源	AC100V 50/60Hz、DC26.4V (24V用バッテリー ホットアース)	
定格消費電力	60W(電気用品安全法による測定方法に基づく)	28W(電気用品安全法による測定方法に基づく)
消費電流	AC 1.8A / DC4A (定格出力時)	AC 1A / DC2.5A (定格出力時)
出力	定格60W	定格 30W
出力負荷インピーダンス	170Ω (ハイインピーダンスライン 100系) 83Ω (ハイインピーダンスライン 70系)	330Ω (ハイインピーダンスライン 100系) 170Ω (ハイインピーダンスライン 70系)
ひずみ率	5%以下 (1kHz 定格出力時)	
周波数特性	100Hz～10kHz 偏差±3dB (定格出力−10dB時)	
音質調節	10kHzに 於いて−10dB 以上 (1kHz基準) 調節器付	
入力感度及びインピーダンス	メインマイク: −62dBV 600Ω 平衡 音量調節器付 マイク 1～3 : −62dBV 600Ω 平衡 音量調節器付 ライン 1 : −22dBV 10kΩ 平衡 音量調節器付 ライン 2 : −22dBV 10kΩ 不平衡 半固定音量調節器付	
信号対雑音比	55dB以上	
動作表示	電源表示灯 : LED (赤)、呼び出し表示灯 : LED (橙)、 一斉リモート表示灯 : LED (緑)、出力表示灯 : 7 ポイント LEDによる	
使用温度範囲	0℃～+40℃	
スピーカー出力範囲	5回線(2線式) 一斉付及びモニター回線 (3線式) スピーカー1・2・3及びモニター回線はトークバック付	
BK入力	DC 26.4V 15mA BK端子(BK SW DC24V)にて (電源用のみ)	
外装	パネル : (鋼板) マンセルN1 近似色 ブラック 半艶塗装仕上げ ケース : (鋼板) マンセルN2.5G 1/2 近似色 ライトグリーン 塗装仕上げ	
外形寸法	幅 420mm 高さ 143mm 奥行 333mm	
質量	約12.1kg(取付金具 オプションを除く)	約9.7kg(取付金具 オプションを除く)
付属品	ヒューズ (3A) 1 (6A) 1	ヒューズ (2A) 1 (3A) 1
	取付金具 2、M4×8黒ねじ 4、φ4×10平ワッシャー 4、ショートバー1、 放送先表示ネーム1、BTS 5Pメタコン 1、取扱説明書 1	
適合品	トークバックマイクロホン MD-2B、4音チャイムユニット EC-24、 AMラジオチューナーユニット FU-100R、 AM/FMラジオチューナーユニット FU-110R	

船内指令装置

ユニペックス株式会社

RKTTT30R-H0-1